

<機械工学課程>

日 程	12月2日(土) 午前・午後
プログラム	課題提示・プレゼンテーション
ね ら い	自らの力で観て、考えて、創造し、それを表現する力の素養をみる。
要 約	<p>課題は2問から構成されていた。第1問は、独自の着想により考案した機械式硬貨計数機について、種類が異なる硬貨の仕分け方法および計数方法について説明するものであった。第2問は、既存の新幹線車両および現在導入が進められている超電導磁気浮上式列車の走行原理を説明するとともに、比較・検討を通じてそれぞれの優位性および問題点を説明するものであった。</p> <p>一般プログラム(一般)では、解答をOHPシートにまとめさせてプレゼンテーションおよび質疑応答を行い、新たな機構を発案する創造力および現実的な製品に係る理解力について評価した。一般プログラム(グローバル)および地域創生Tech Programでは、プレゼンテーションに替えて、解答をレポート用紙に記述させて評価した。</p>

日 程	12月2日(土) 午後
プログラム	面接
ね ら い	論理的思考能力、創造力、チャレンジ精神、数学、物理、英語等の基礎学力をみる。
要 約	<p>機械工学を志望する理由や英語、数学、物理に対する基本的な質問に対する回答より、論理的思考能力やチャレンジ精神および機械工学に対する適性を評価した。(面接時間は1人15分程度。)(一般プログラムのみ)</p>